

TEC 通信

NO. 4

2016年10月1日 発行

立川イングリッシュチャットルーム

発行責任者：熊田 強子

Tel: 531-1887

国連大学卒業生との交流記録・国連大学オープンクラスへの参加

ガーナの子供達への手紙

ガーナの子供たち（TEC 通信 No. 3 掲載）10人へ、TEC 会員全員で返事を書きました。アフリカの子供たちの手紙は、私達の心まで輝かせてくれました。その「聡明さ」に、私達は皆、これまでであったことのない感動を覚えました。ここでご紹介できないのが非常に残念です。

お互いの贈り物は、いつもヤオさんの手渡しですが、今回は研究旅行のためそれができず、高尾山に登った翌日に郵送して下さったそうです。

高尾山の頂上では富士山は雲に隠れて見えなかったのですが、参加者は木陰で輪になって、弁当や果物などの差し入れを囲み、思い思いの話に花を咲かせました。



ヤオさん、TEC 会員とその家族
で高尾山に登りました！
2016年7月16日(土)

TECの活動履歴と今

1. 2000年に、TIMEとPBSで生きたグローバルイングリッシュを学ぶことを目的として、立川市民7人で設立。
2. 月2回の定期活動と、国連大学の行事（卒業式など）への参加、最近では特に国連大学のオープンクラスにも参加し、アフリカ問題と存在感のあるグローバルイングリッシュの習得に力を入れています。
3. その他、柴崎学習館のすわっ祭を通して市民活動・交流に励んでいます。

ヤオさんのプロフィール

2015年に国連大学（渋谷）の博士課程を卒業した後は、東京大学の研究室に所属しながら世界中を飛び回り、研究活動に励んでいらっしゃいます。

2012年に友人のベンジャミンさん（カナダの大学院に在学中）と、TECのクラスに初めておいでになってからは、家族のように、また学友のように、お付き合いを楽しみながら立川市の市民活動に力をいれていただいています。



* 上の写真：昨年、ヤオさんと
ジョセフさん（ケニア出身）
の卒業式

* 左の写真：高尾山登山

ガーナの子供達の魅力と TEC のこれから

ガーナの子供達の魅力がどこからくるのか、そんな疑問が出発点となり、また、ヤオさんや、ベンジャミンさん、ジョセフさんが示す、なんとも暖かいヒューマニティ（人間性）がどうやって育てられたのかを知る為に、今年の夏、TECの会員全員で、Geroge J. Sefa Dei（ガーナ出身の教育研究者）著「Critical Perspectives on Politics and Socioeconomic Development in Ghana」（ガーナにおける政治的、社会経済的発展の展望）の一部を読みました。それは、「アフリカ人としての地域性を重んじた、基本的な知識と教育」の研究レポートです。アフリカ・自分たちの文化に対する驚くべき「自信と誇り」が、この教育姿勢から来るのを学びました。「人間の尊厳とは何だろう」という、日ごろ、平和な日本に暮らしていると忘れがちな問題の伝え方が、こんなに自然に、強力なインパクトをもって心に響いてくる経験に、私達は深い感動を覚えました。この度、このテーマを求めて立川市の多文化共生センターの「アフリカに焦点を合わせる企画」にご一緒させていただくお話がありますので、会員一同張り切っているところです。